

2022年1月31日

各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

環境省「リーディングテナント行動方針」に賛同しました

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:カリン・ドラガン)は、環境省がテナント企業などによる脱炭素化への取り組みを取りまとめた「リーディングテナント行動方針」に賛同しました。

「リーディングテナント行動方針」は、日本国内における温室効果ガス（GHG）排出量のなかで高い比率を占める事務所ビルのCO2排出量削減を推進することを目的とし、ビルのテナント側がZEB化※をはじめとする脱炭素化を実現するための取り組みをとりまとめたものです。今後当社は、当行動指針に則し、ビルオーナーと協力しながら、省エネ、再生エネルギーの活用など、事業所内における脱炭素化への取り組みを推進してまいります。

当社は、日本のコカ・コーラシステムが掲げる2030年までのGHG排出量削減目標の達成に向け、それぞれの事業領域においてGHG排出量の削減に取り組んでまいります。

※ZEBとは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

■環境省 ZEB・PRTAL（ゼブ・ポータル）

<https://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>

■リーディングテナント行動方針

<https://www.env.go.jp/earth/zeb/tenant/index.html>

■日本のコカ・コーラシステム、2030年までの温室効果ガス（GHG）排出量削減目標

<https://www.ccbji.co.jp/news/detail.php?id=1182>

以上